

サラダ用タマネギ「サラたまちゃん」の定植最盛期です。

ＪＡあしきたサラたまちゃん部会で、平成２７年産サラたまちゃん定植講習会が、平成２６年１０月２８～２９日に開催されました。

講習会では、育苗管理や灌水についての説明に続き、畦内施肥マルチャー（タマネギを植える畝だけに施肥しながらマルチを張る機械）の機械研修も行われました。

参加者からは、肥料を均一に散布する方法やたるみが無いように綺麗にマルチを張る方法などについて活発な質問があり、充実した講習会となりました。

水俣・芦北地域のサラダ用タマネギの定植は１０月上旬から始まり、１１月が最盛期です。定植はマルチに開けた小さな植穴にお箸ほどの太さに育ったタマネギ苗を１本ずつ差し込んでいきます。

生産者は、「定植作業は少し腰が痛くなるけど、収穫が楽しみ。おいしいタマネギを皆さんにお届けします。」と元気に作業に励まれています。

ＪＡあしきたのサラダ用タマネギは、熊本型特別栽培農産物の認証を受け安全・安心で美味しいタマネギ「サラたまちゃん」として２月から収穫・出荷が始まります。



タマネギ定植風景



畝内施肥マルチャーを
困りでの講習会